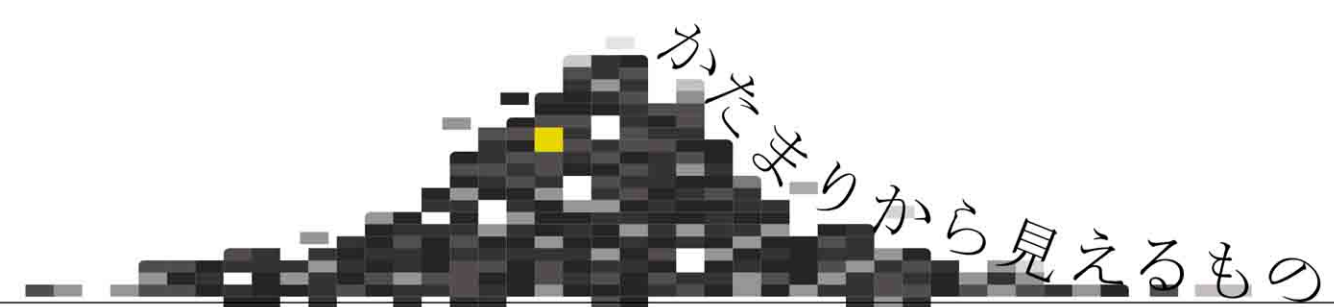
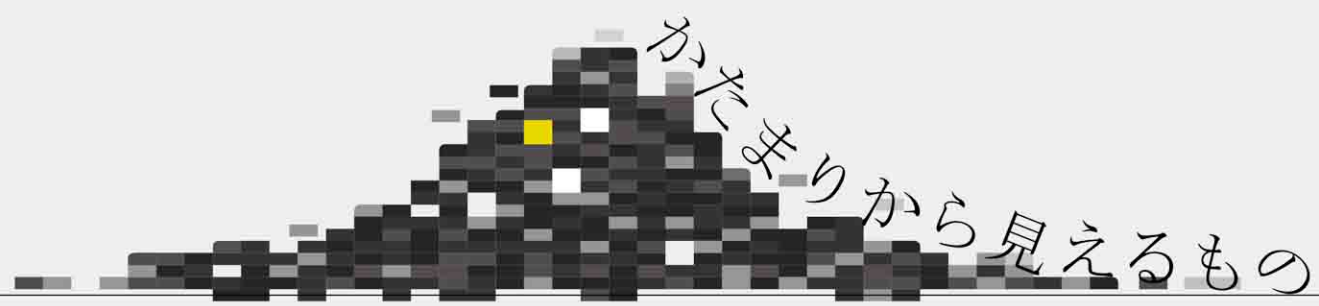




社会から忘れられた土地、捨てられたものに新たな役割を与える事で今まで見えなかったものが見えてくる。



社会から忘れられた土地、捨てられたものに新たな役割を与える事で今まで見えなかったものが見えてくる。

1	2
3	4

Concept

普段目に見えないものを見るようにする。

そうすることで、我々は様々な事が分かってくる。

自分たちがどれほどゴミを出しているのか。

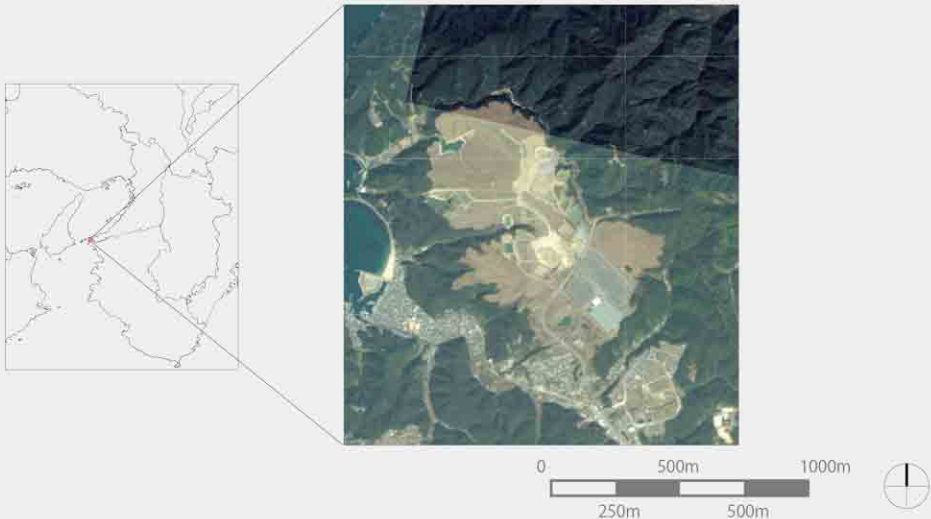
まずその認識無しではエコは語れない。

自分たちの目で実際に見る事。

そのかたまりから見えるもの

それは・・・

Site



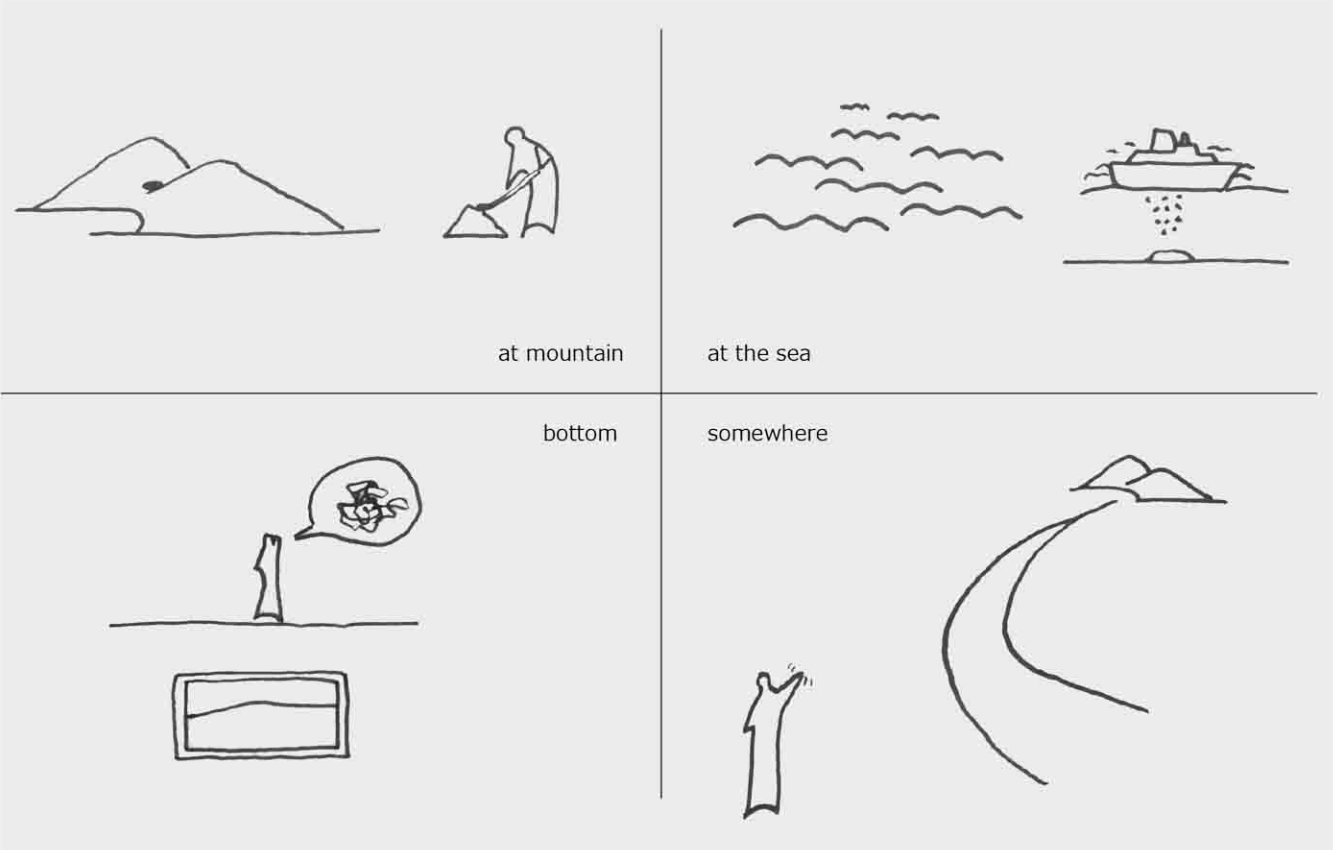
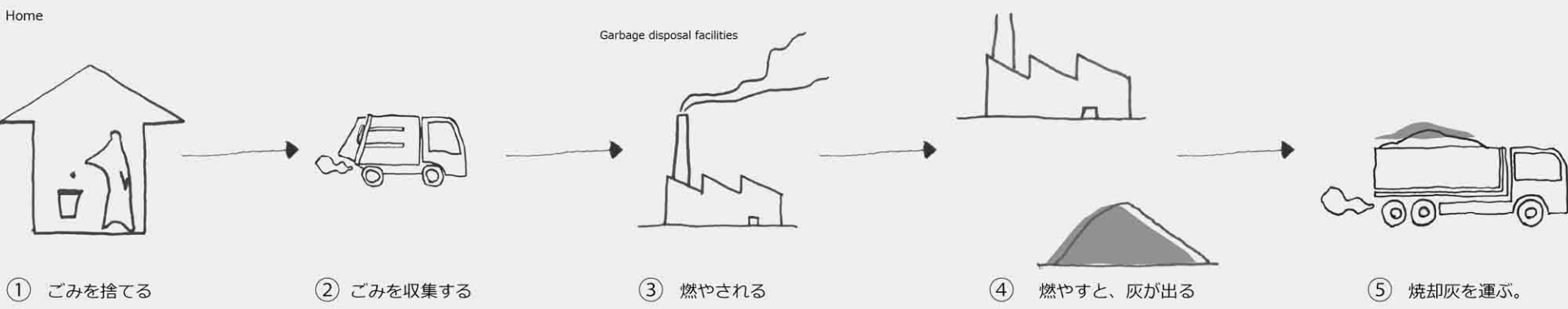
Problem

敷地は和歌山県、加太、巽獄山跡地
和歌山市内からもアクセスがよく、
周りには海・山と豊かな自然に囲まれている。

巽獄山、今はもうその姿を見る事はできない。
関西空港第二期工事の埋め立て用の土砂を削り
出したため、丸ごと姿を無くした。
現在でも開発のめどが立たず、放置された状態にある。

Flowchart

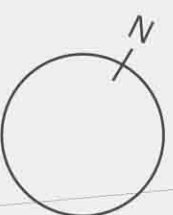
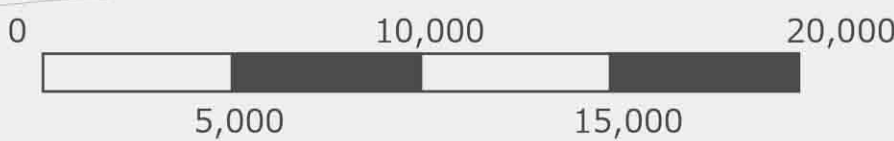
ゴミの流れ
様々な場所でゴミが
出されている。
昨今、エコなど地球環境について
議論がなされているが、
ゴミが最終的にどこに行くのだろうか？



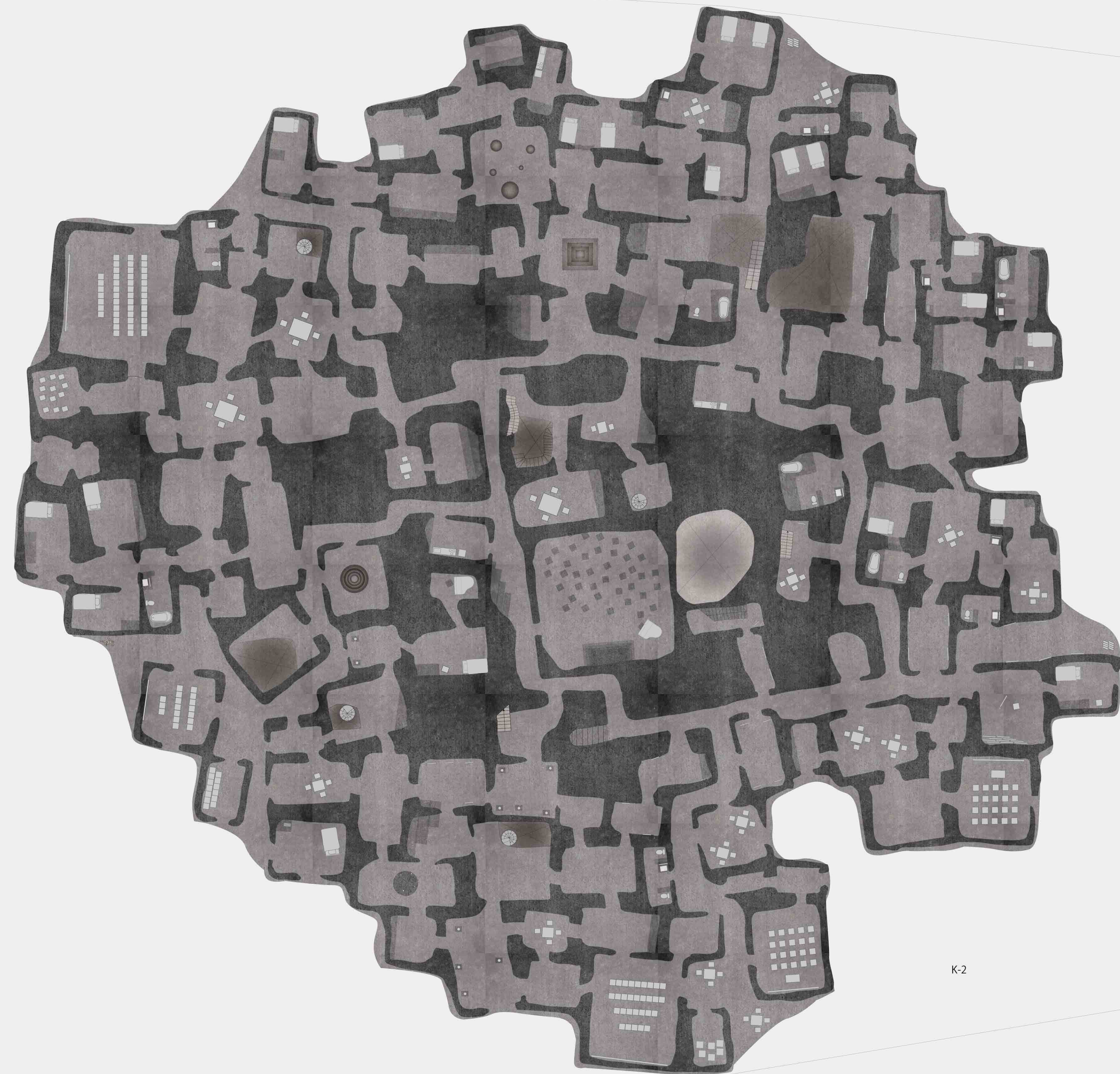
⑥ 最後・・・



a-11



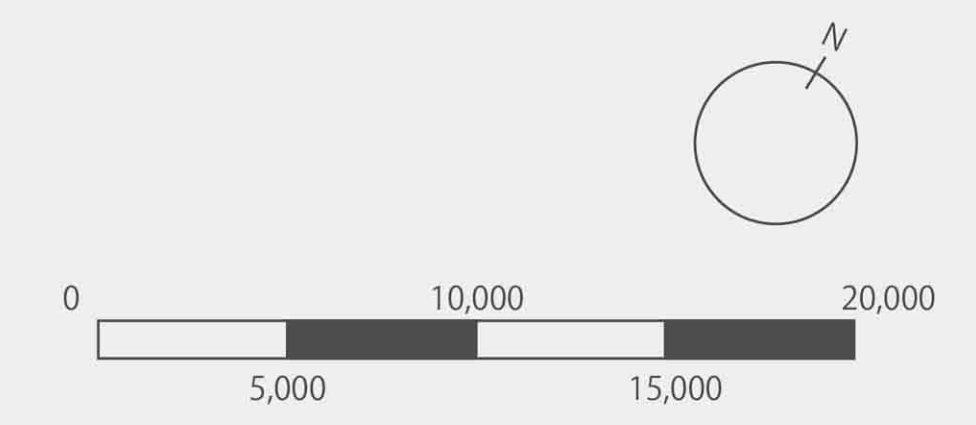
1	2
3	4



K-2

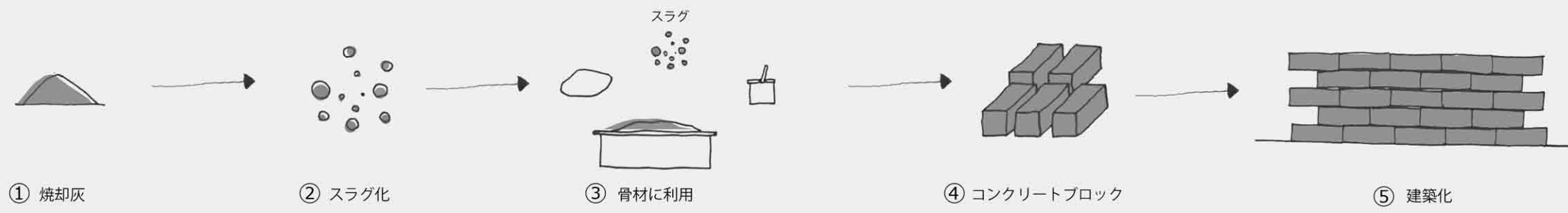


K-3

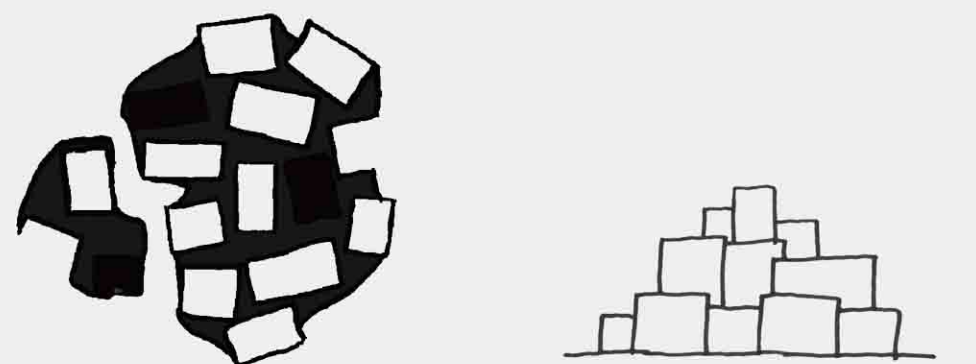


Manufacture

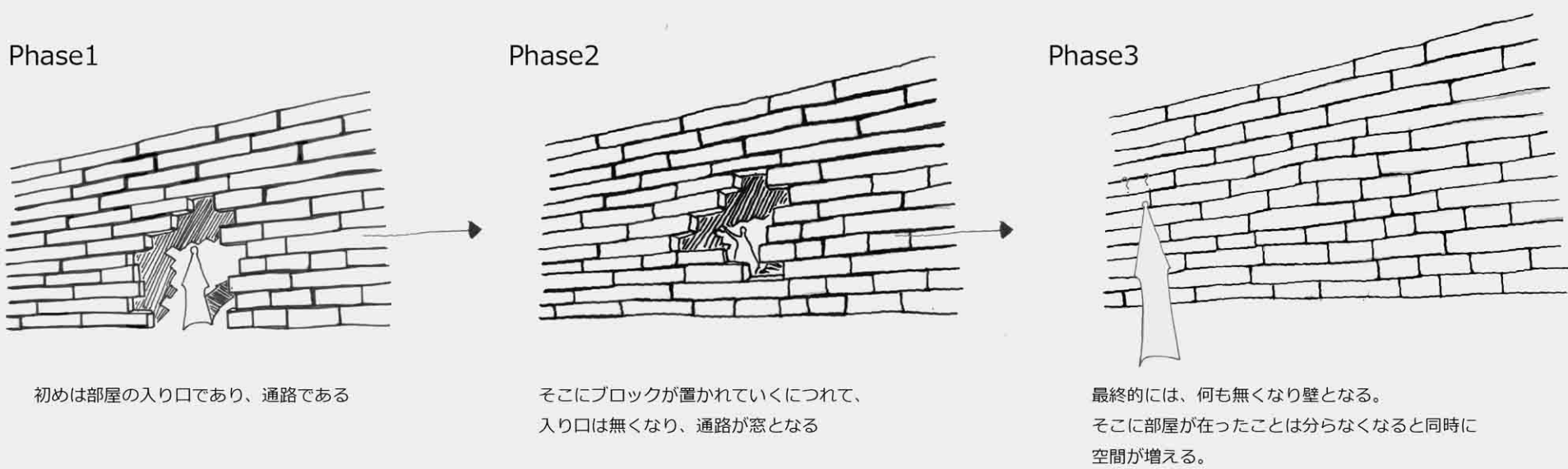
1	2
3	4



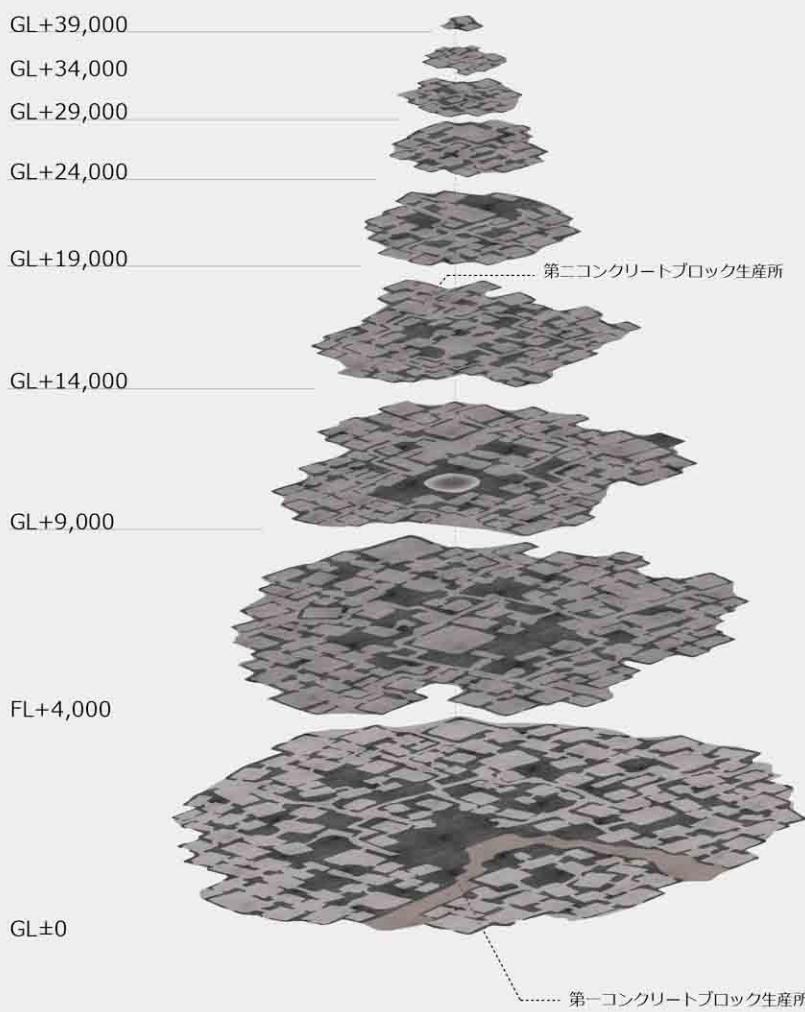
Diagram



Wall



Program



コンクリートブロックを造り、積み上げていく人々の住居

ブロック職人は、ブロックを積み上げて空間を造っていく。新しく造られた空間に職人は移り住み、空間を造り続けるために上へと上っていく。

残された空間には新たな用途が与えられ、新たな住人が住んでいく。

アトリエ+住宅+美術館

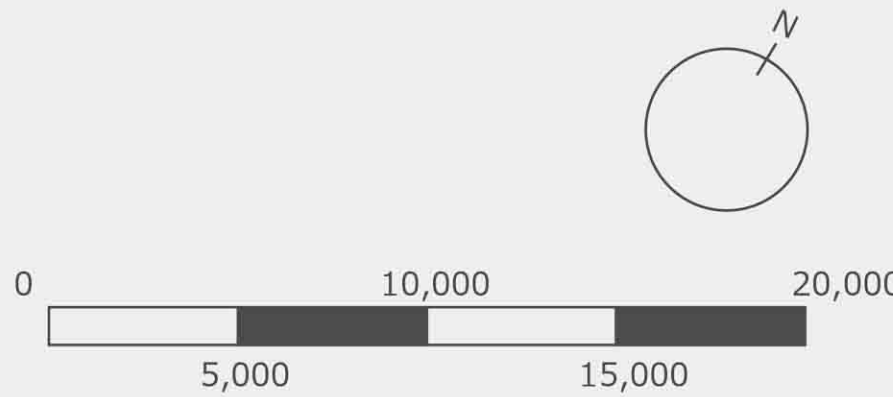
アトリエに人が住み、美術品が生まれる。作品は廊下へ、空いている空間へと広がり、空間一帯が美術館となる。

研修スペース、宿泊施設、小ホール、映写室

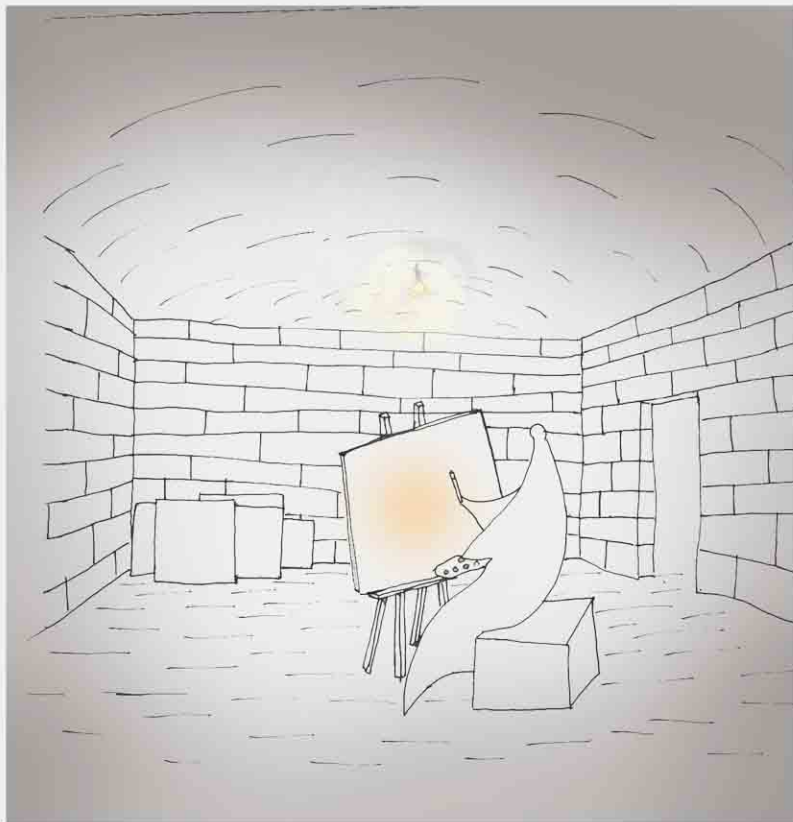
ゴミ問題を学んでもらうための研修施設、またその人たちのための宿泊施設。小ホールや映写室もある。

体験施設、図書館

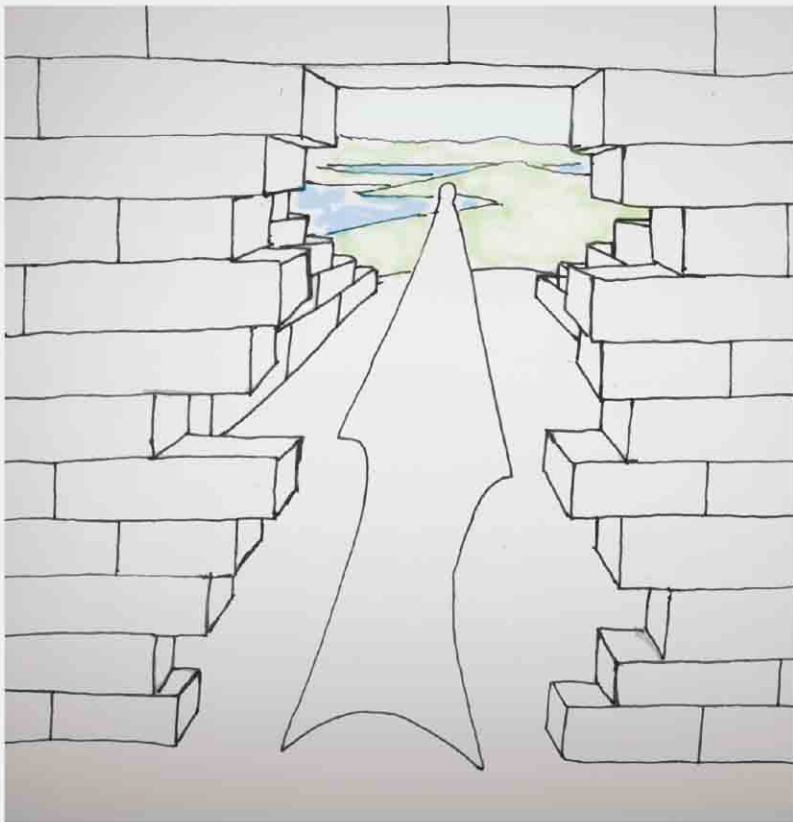
体験施設では、建物に使われているコンクリートを通ることができる。図書館では、ゴミ問題に関する資料や、敷地の歴史を知る事ができる本が置かれている。



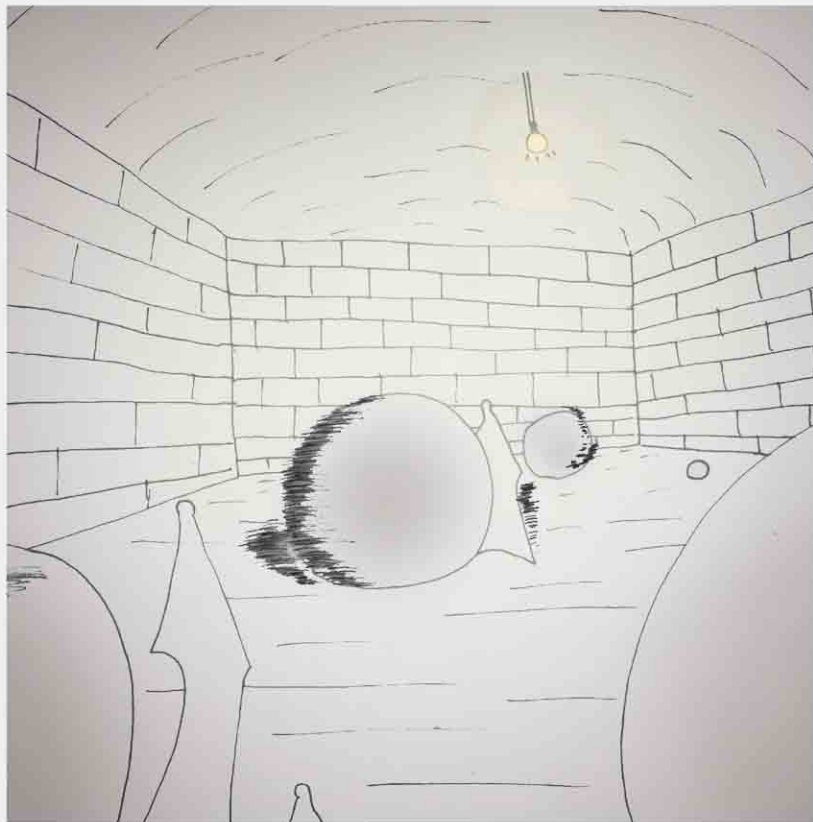
1	2
3	4



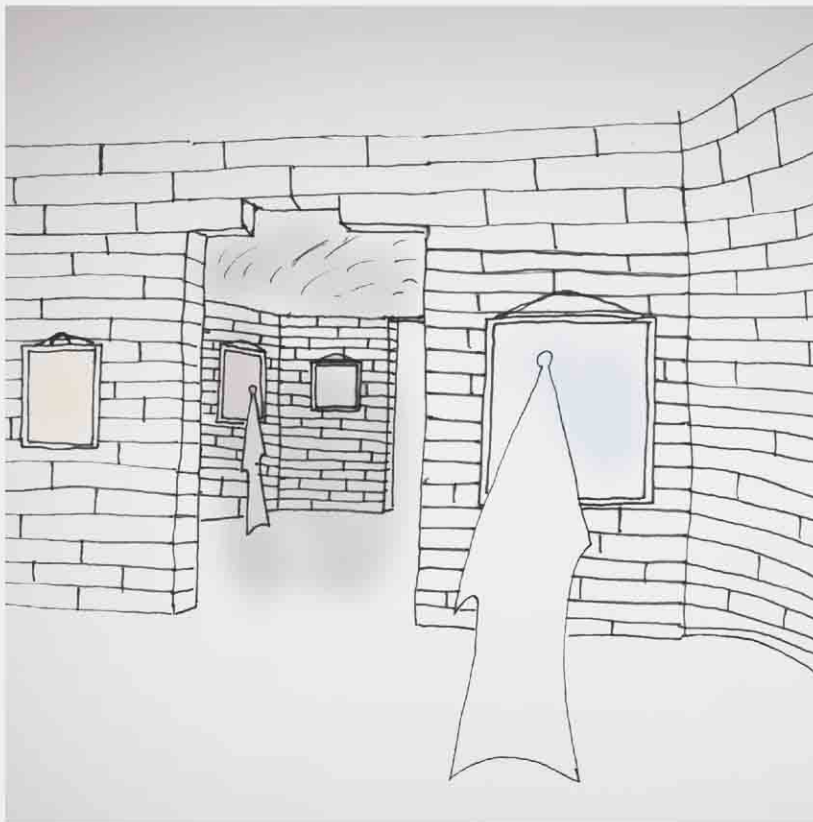
アトリエ内部



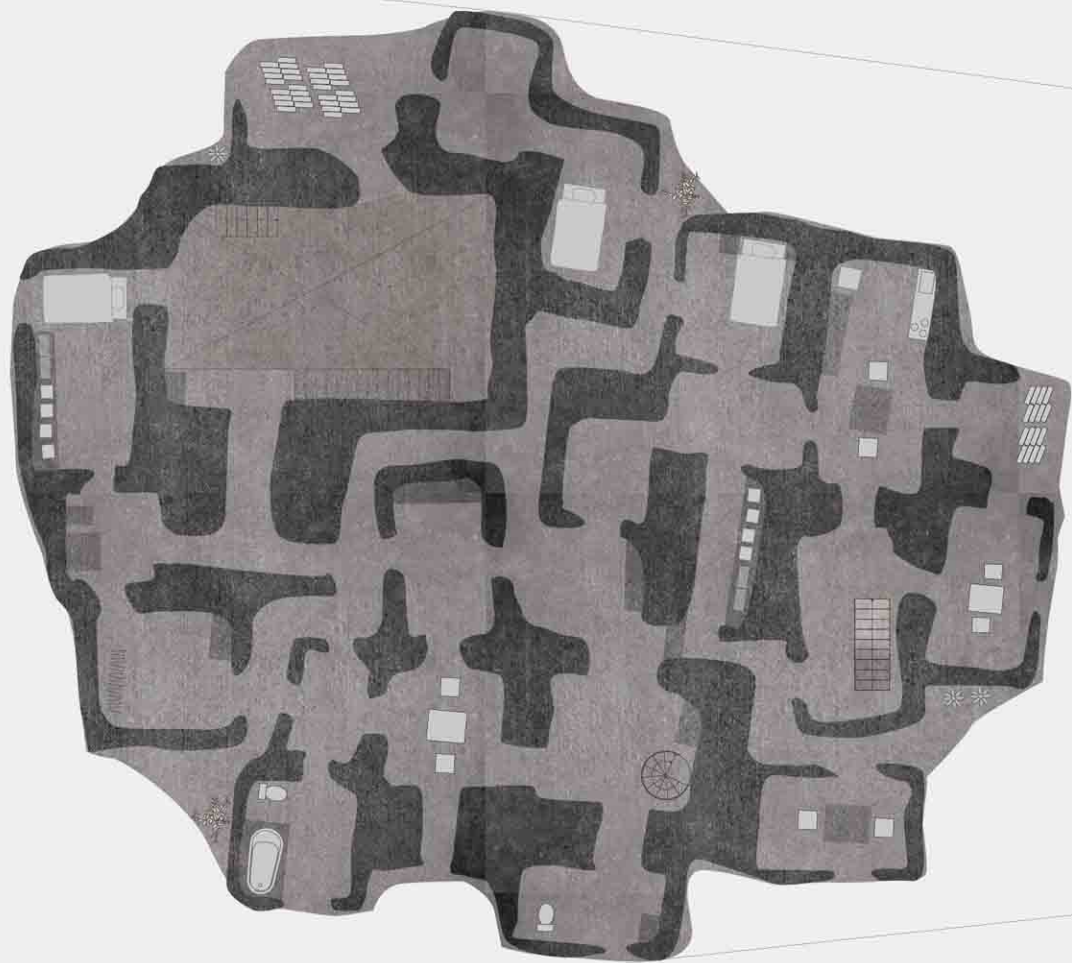
瀬戸内海を望む



美術館内部



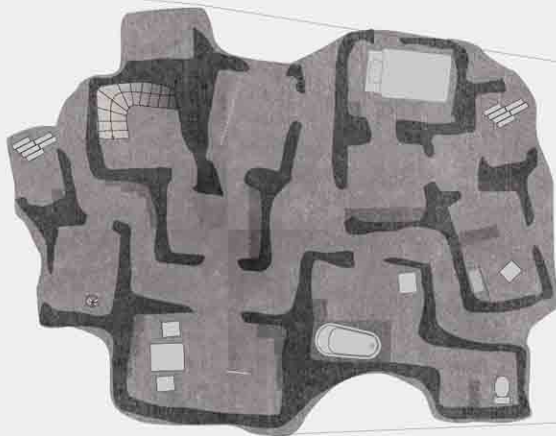
回廊を望む



K-6



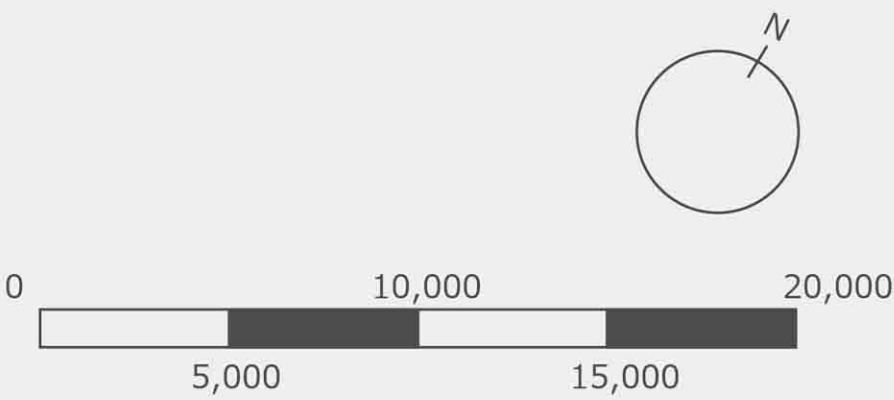
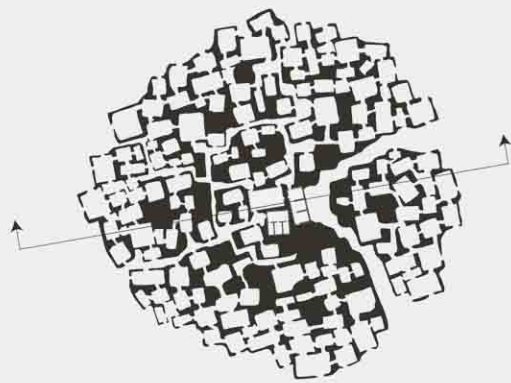
K-7



K-8



K-9



形態生成過程

時が経つにつれ、建築は増殖する

